

平成21年9月期 決算説明資料

(平成20年10月1日 ～ 平成21年9月30日)

平成21年 12月 18日

ひとを大切に。自然を大切に。

ホウライ株式会社



目次 ~ CONTENTS

1. 平成21年9月期決算概要	
1-1 業績サマリー	1
1-2 営業収益・営業総利益の実績	2
1-3 事業部門別実績	4
1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移	7
2. 「中期業務計画」概要	
2-1 概要 (その1-1、その1-2)	8
2-2 概要 (その2)	10
2-3 事業部門別施策	11
3. 平成22年9月期業務計画概要	
3-1 計画サマリー	12
3-2 営業収益・営業利益の計画	13
3-3 経常利益・当期純利益の計画	14
(ご参考) 主要な経営指標等 (実績) の推移	15
(ご参考) 事業内容のご案内	16

本資料の見通し(予想値)は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため 実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により、予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、本資料に記載の金額(実績)については、百万円未満の金額は切り捨てて表示しております。

1-1 平成21年9月期 業績サマリー



(単位: 百万円)

	第125期実績 (平成20/9月期) ①	第126期実績 (平成21/9月期) ②	前期比 ②－①	増減率(%) ②／①
営業収益	5,795	5,852	57	101.0
営業総利益	1,077	1,038	-39	96.4
経常利益	935	893	-42	95.5
当期純利益	675	538	-137	79.7

・事業部門によりバラツキはあったものの、営業収益は、5,852百万円(前期比57百万円増)となりました。

・営業原価は、不動産の賃貸ビル修繕工事を主因に増嵩し、全体では前期比96百万円増加となりました。その結果、営業総利益は1,038百万円(前期比39百万円減)となり、経常利益は893百万円(前期比42百万円減)となりました。

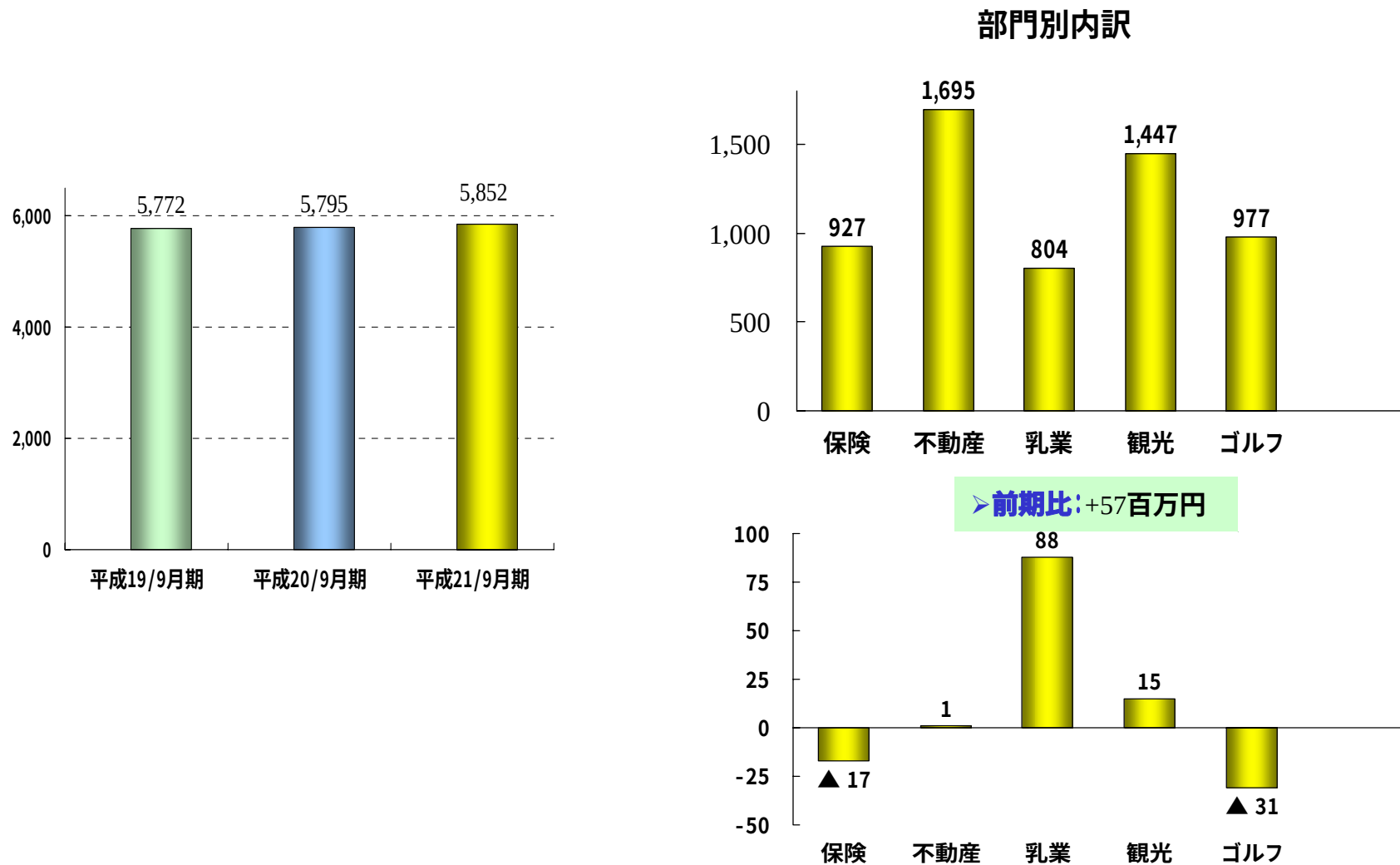
・当期純利益は投資有価証券の売却・評価損等があり、538百万円(前期比137百万円減)となりました。

1-2 平成21年9月期 営業収益・営業総利益の実績 (その1)



■ 営業収益

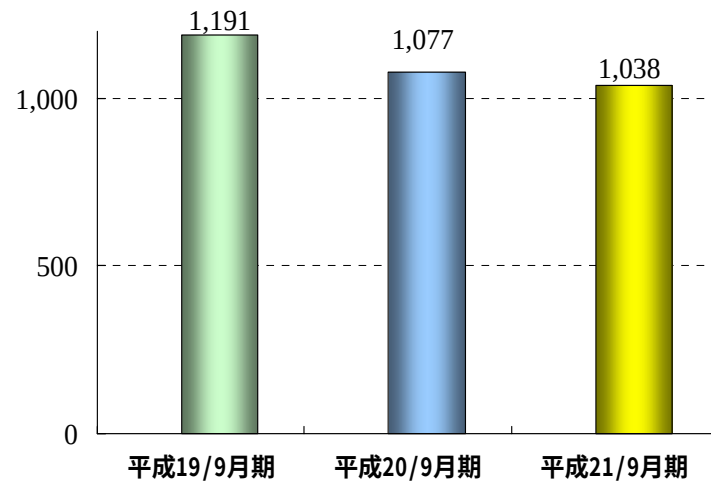
(単位: 百万円)



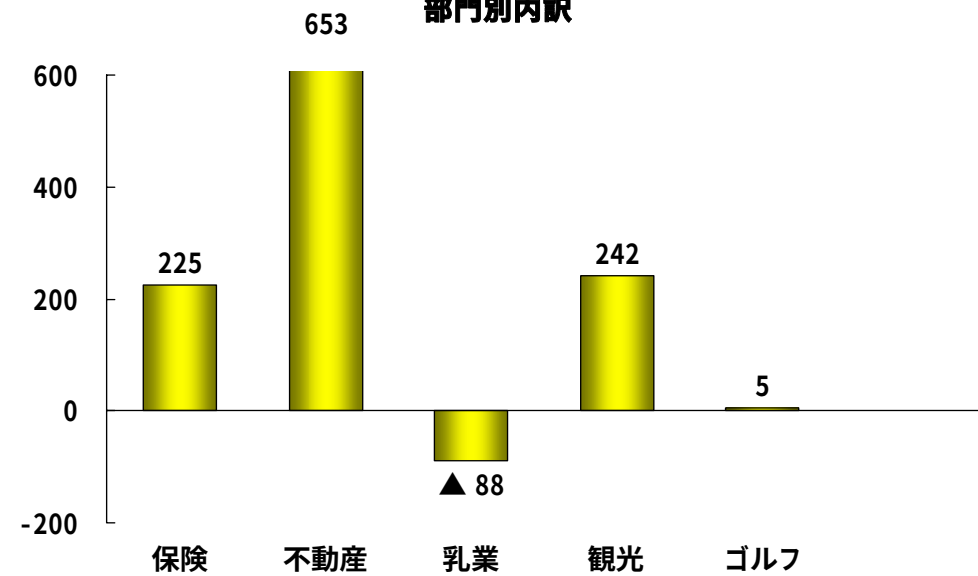
1-2 平成21年9月期 営業収益・営業総利益の実績 (その2)

(単位:百万円)

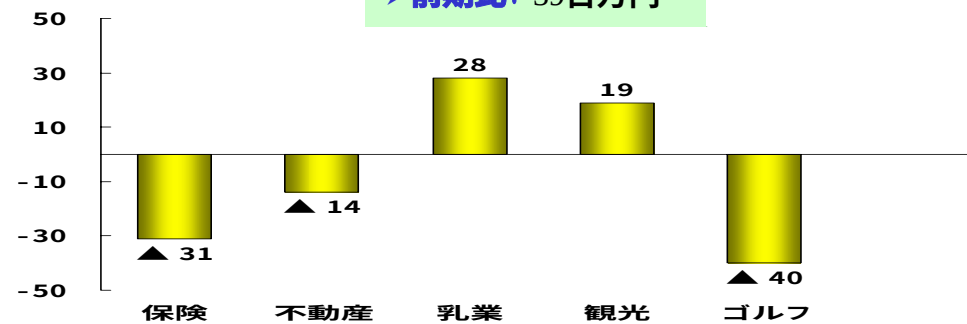
■ 営業総利益



部門別内訳



▶ 前期比: -39百万円

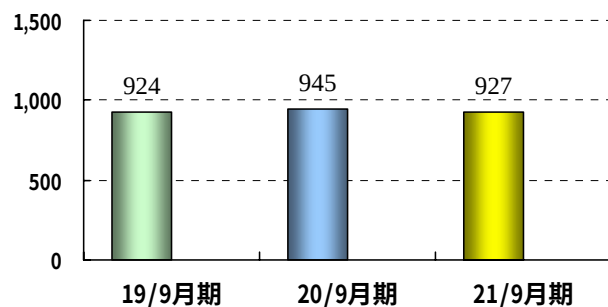


1-3 事業部門別実績 (その1)

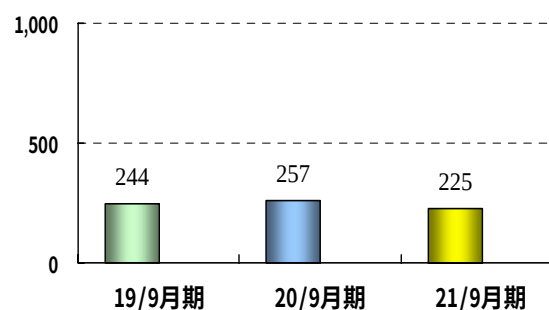
保険事業

(単位: 百万円)

<営業収益>



<営業総利益>

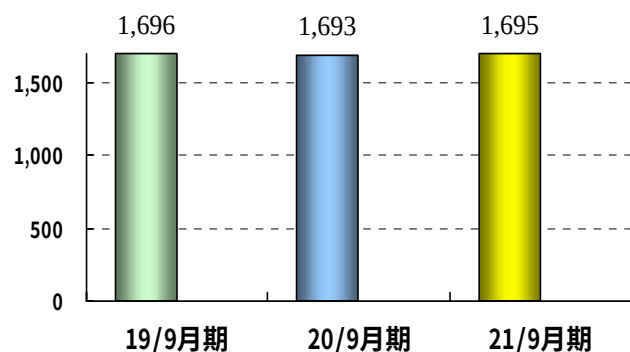


保険事業

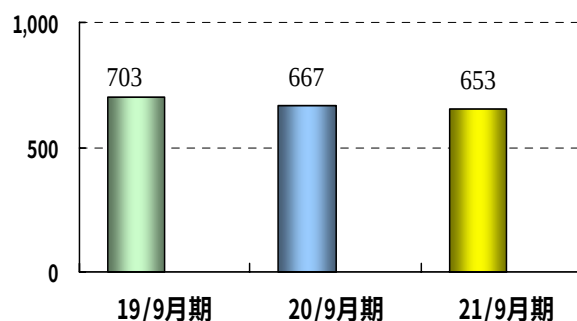
厳しい業界環境下、新規先の獲得と契約更新に注力しましたが、中小企業の経営不振の影響を受け生命保険分野が大幅な減収となり、営業収益は927百万円(前期比17百万円減)となりました。一方、営業原価は前年を上回り、営業総利益は225百万円(前期比31百万円減)となりました。

不動産事業

<営業収益>



<営業総利益>



不動産事業

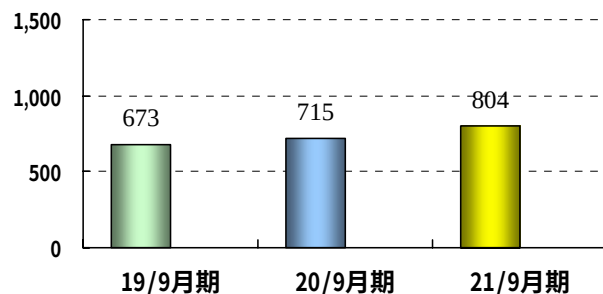
一部テナントの退出があったものの、池袋室町ビルの賃貸スペース拡大が奏功し、営業収益は、1,695百万円(前期比1百万円増)となりました。一方、ビル改修工事により営業原価が増加したため、営業総利益は653百万円(前期比14百万円減)となりました。

1-3 事業部門別実績 (その2)

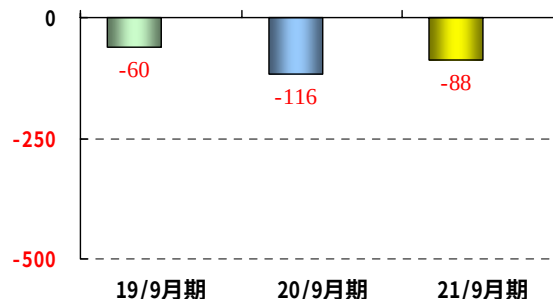
乳業事業

(単位: 百万円)

<営業収益>



<営業総利益>

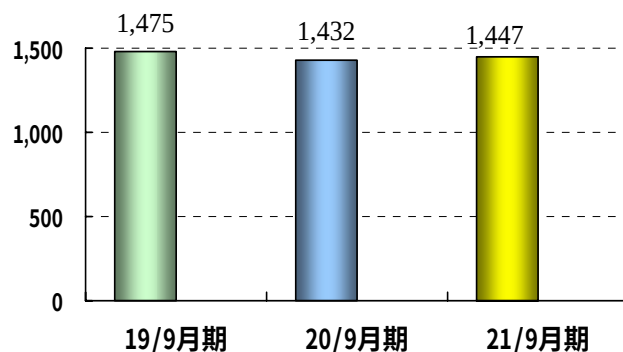


乳業事業

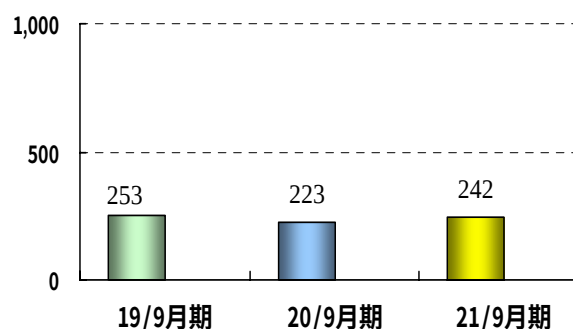
販路拡大、ギフト売上増加等に全社を挙げて取り組んだ結果、営業収益は804百万円(前期比88百万円増)となりました。営業収益増加に伴い営業原価が増加したものの、営業総損失は縮小し88百万円(前期比28百万円改善)となりました。

観光事業

<営業収益>



<営業総利益>



観光事業

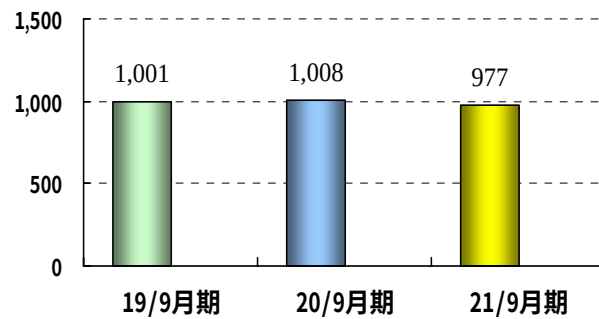
高速料金値下げの効果は期待したほどではなく、景気悪化に伴い消費者の節約志向が強まる等厳しい環境でしたが、キャンペーン・イベント等を実施し販売に注力した結果、営業収益は1,447百万円(前期比15百万円増)となりました。営業原価は前年を下回り、営業総利益は242百万円(前期比19百万円増)となりました。

1-3 事業部門別実績 (その3)

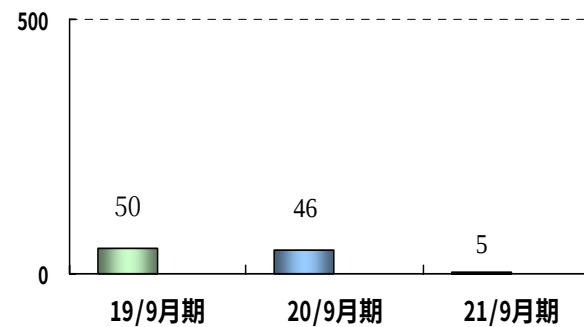
ゴルフ事業

(単位: 百万円)

<営業収益>



<営業総利益>



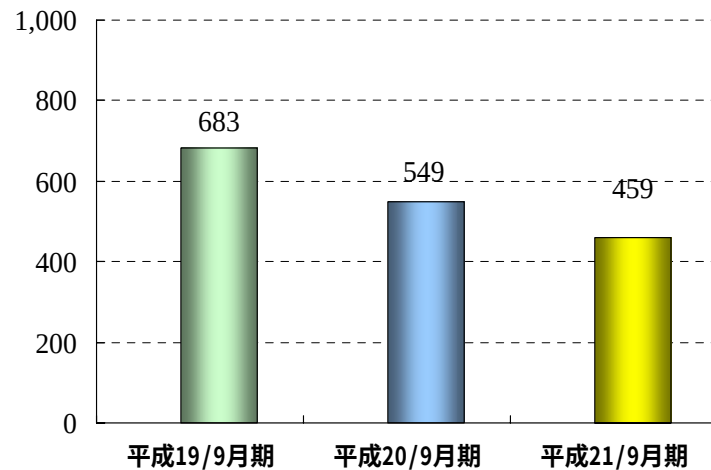
ゴルフ事業

休日の悪天候や個人消費の低迷、節約志向が影響し、営業収益は977百万円(前期比31百万円減)となりました。一方、コテージの改装費用や人件費等、営業原価が増加し、営業総利益は5百万円(前期比40百万円減)となりました。

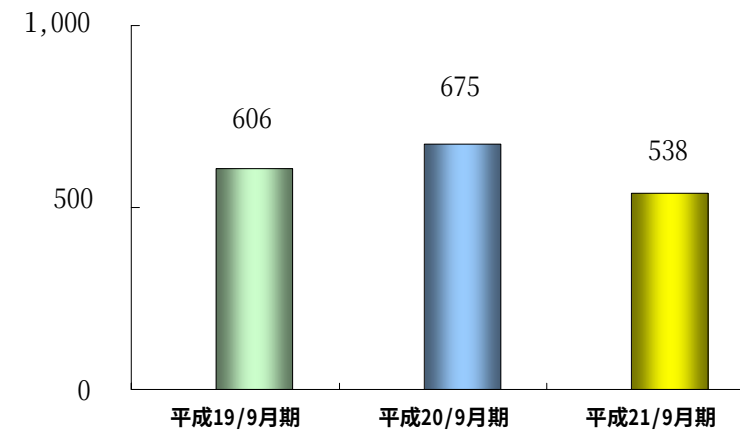
1-4 営業利益・経常利益・当期純利益の実績推移

■ 営業利益

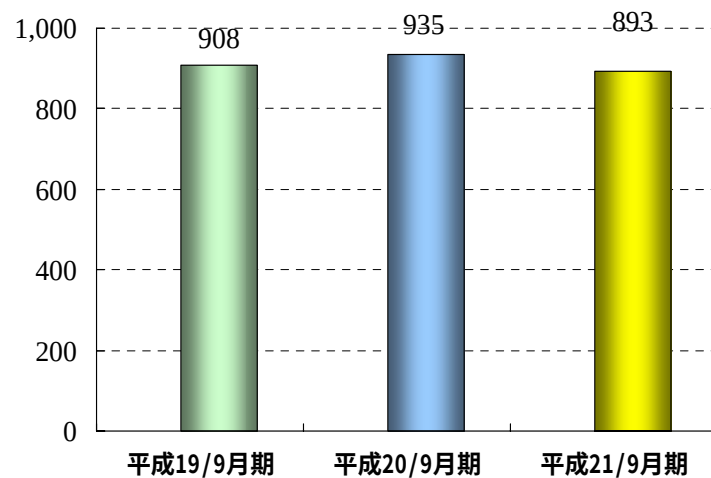
(単位:百万円)



■ 当期純利益



■ 経常利益



2-1 「中期業務計画」概要 (その1-1)

1. 計画策定の背景

当社は昨年、平成21年9月期～22年9月期の2か年計画を策定し、達成に向けた取り組みを実施してまいりました。しかし、計画初年度における国内外の経済的環境の変化は、計画策定時の予想を遥かに超えたものであり、又先行き依然不透明であることから、改めて具体的対応策を再構築することとし、中期業務計画（平成22年9月期～23年9月期）を再策定することといたしました。

なお、本計画におきましても、計画期間は2か年としました。

2. 新計画の基本方針

(1) 基本方針

「収益体質の強化」を最優先課題と位置付け、安定配当を維持し、財務体質改善を図り、「Newホウライ」への変革を目指します。厳しい環境変化、景気動向に柔軟かつスピーディに対応できる体質作りを推進します。

(2) 収益体質の強化ポイント

- ① 事業戦略の明確化
- ② ローコストオペレーションの実現
- ③ 人材マネジメントの推進

2-1 「中期業務計画」概要 (その1-2)

3.計画の概要

<主な年度別特徴について>

- (1)初年度の平成22年9月期は、営業収益・利益とも微増の計画です。オフィス空室率上昇の影響を見込んだ不動産事業以外は、継続的に販路拡大に取り組んでいる乳業事業をはじめ、各事業部とも基盤拡充などの実効性のある施策推進により、増収増益を計画しております。
- (2)平成23年9月期は景気動向は不透明ですが、各事業での成長戦略に沿った施策推進により増収増益(営業・経常利益段階)を計画しております。

以上のように、当社は厳しい経済環境の下で、重要な課題に対処しつつ、永続的健全経営を目指し、全役職員一丸となって努力してまいります。

<新中期業務計画の年度別計画値の概要>

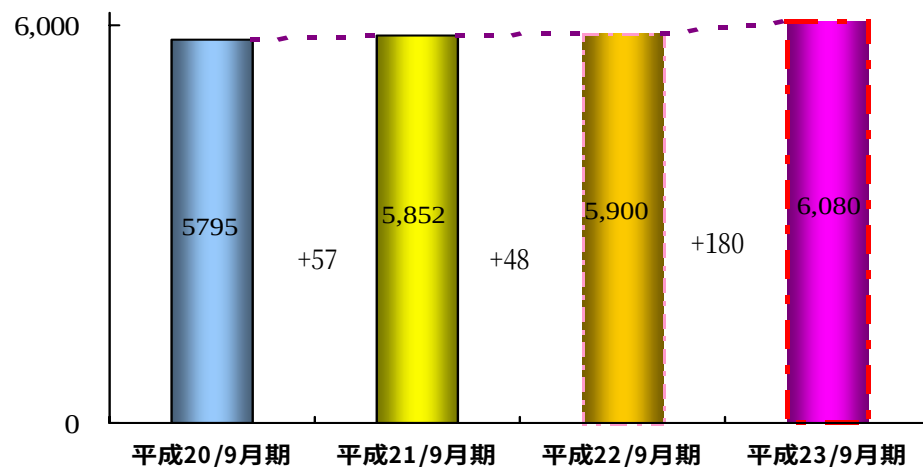
(単位:百万円)

	21/9期実績	22/9期計画	23/9期計画
営業収益	5,852	5,900	6,080
営業利益	459	460	570
経常利益	893	900	980
当期純利益	538	560	610

2-2 「中期業務計画」概要 (その2)

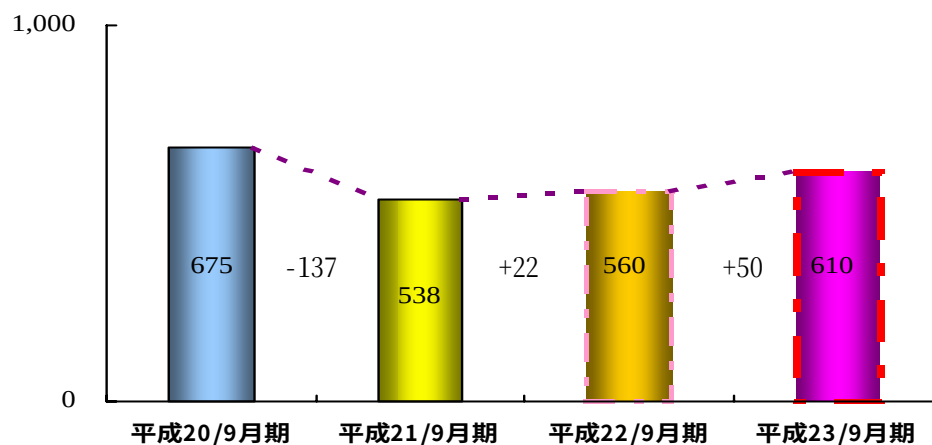
■ 営業収益

(単位: 百万円)



※予想の数字は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

■ 当期純利益



2-3 「中期業務計画」事業部門別施策

保険事業

少子高齢化や、保険業界の再編動向等代理店を取り巻く環境が厳しさを増す中、お客様とのリレーションをより強化し、新規マーケット開拓、代理店買収の促進等により収益向上を図ってまいります。一人ひとりの提案力・コンサルティング力を高める等人材育成に努めるとともに、正確・効率的な事務とコストダウンに取り組みます。

不動産事業

オフィス需要が低迷し、都心の賃料水準も低下傾向にある等、厳しい環境下にあります。計画的かつ効率的に改修工事を進め、ビルグレードの維持向上に努め、適切な賃料の維持と優良なテナントの確保により、安定的な利益確保を図ります。

乳業事業

食の安全性を第一に考え、引き続き品質・衛生管理を徹底するとともに、自給飼料の活用、在庫管理の徹底など、原価低減策や、販売チャネルの拡大、ギフト・宅配など営業戦略を強化し、黒字化に向けて全力を傾注します。

観光事業

自然と牧場のイメージを活かすことを基本コンセプトに、施設の整備・拡充を推進し、観光牧場としての魅力を高めてまいります。各種イベント企画やお客様ニーズに合わせたレストランメニューや商品開発に取り組むとともに、観光協会や旅行業者や観光宿泊施設等とのタイアップも進め、集客対応力の強化を図ります。

ゴルフ事業

会員様はじめ来場者の皆様にプレーを楽しんでいただくことを第一に、施設・設備の計画的な更新を進め、高品質なコースの提供を維持します。又、新装となった宿泊施設の稼動促進や各種イベント企画などにより、来場者の安定的確保に努めます。

3-1 平成22年9月期 計画サマリー

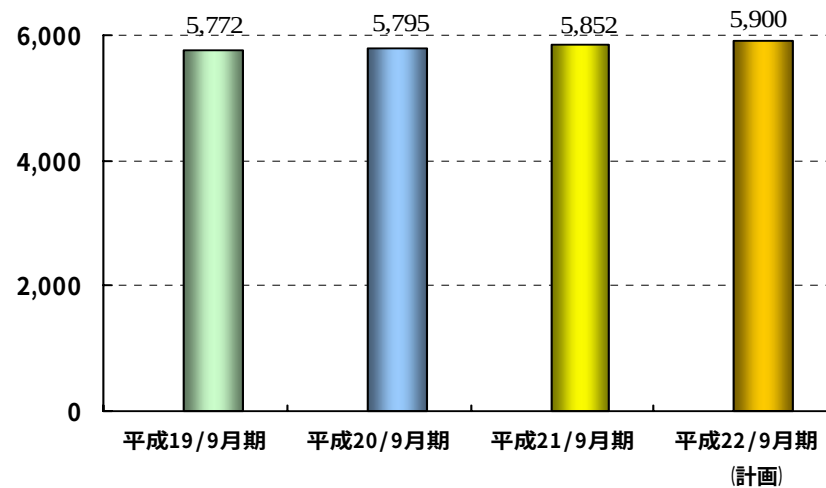
(単位:百万円)

	前期実績 (平成21/9月期) ①	今期計画 (平成22/9月期) ②	前期比 ②－①
営業収益	5,852	5,900	+48
営業利益	459	460	+1
経常利益	893	900	+7
当期純利益	538	560	+22

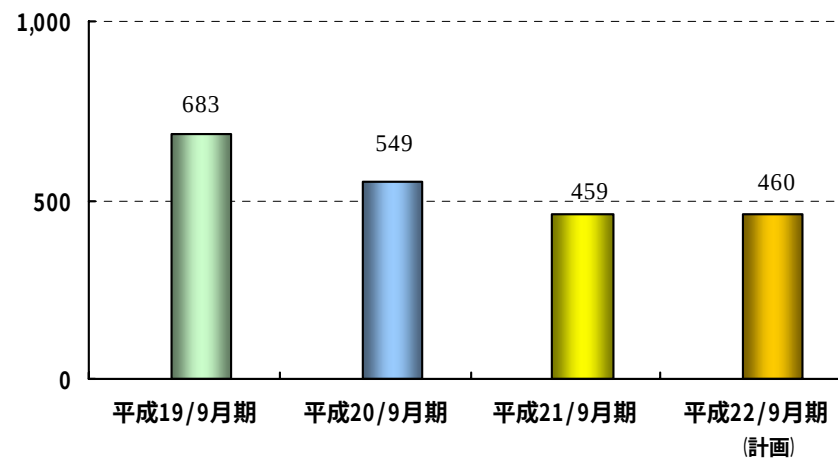
3-2 平成22年9月期 営業収益・営業利益の計画

■ 営業収益

(単位:百万円)



■ 営業利益

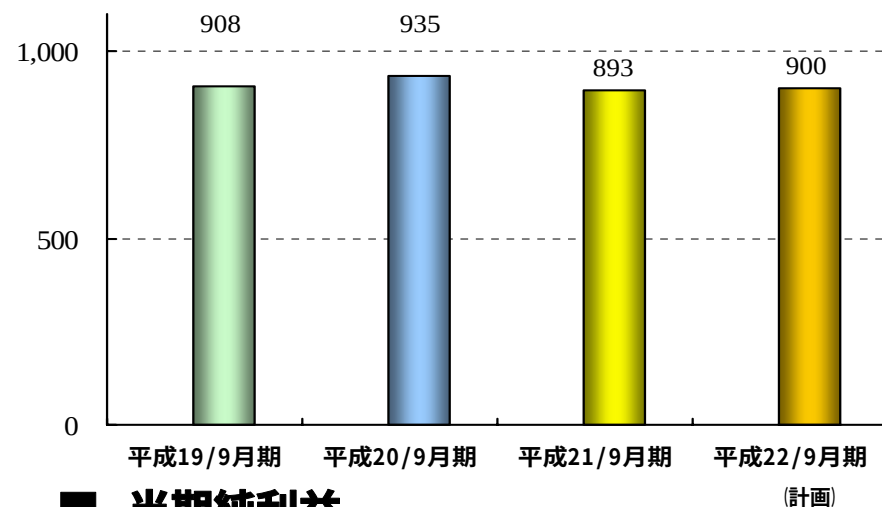


3-3 平成22年9月期 経常利益・当期純利益の計画

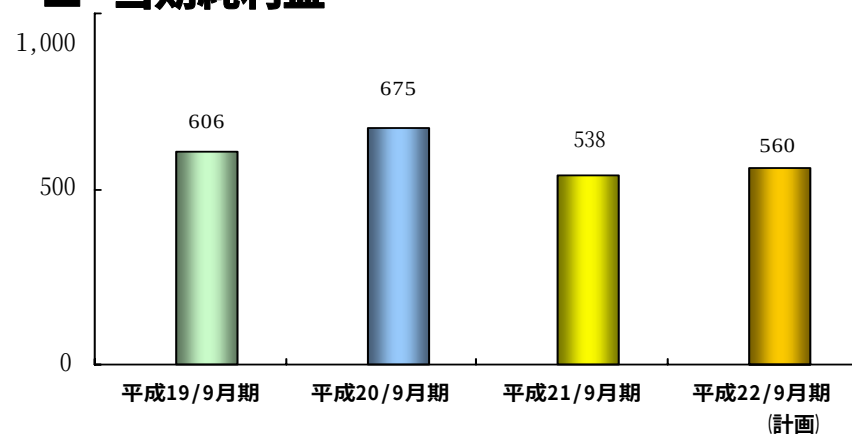


■ 経常利益

(単位:百万円)



■ 当期純利益



(ご参考) 主要な経営指標等(実績)の推移



(単位:百万円)	平成17年9月 通期	平成18年9月 通期	平成19年9月 通期	平成20年9月 通期	平成21年9月 通期
営業収益	5,599	5,981	5,772	5,795	5,852
経常利益	391	985	908	935	893
純利益	377	-5,038	606	675	538
総資産額	32,654	26,438	26,094	25,702	24,685
内 現預金	4,182	3,717	3,962	3,929	3,125
総負債額	22,622	21,469	20,513	19,595	18,119
内 預り保証金	19,175	18,281	17,326	16,073	15,046
内 有利子負債	2,350	2,250	2,150	1,950	1,850
純資産額	10,032	4,969	5,580	6,106	6,566
内 資本金	4,340	4,340	4,340	4,340	4,340
1株当たり純資産額	715.90円	354.72円	398.57円	436.34円	469.29円
自己資本比率	30.7%	18.8%	21.4%	23.8%	26.6%
従業員数 (名)	181	192	171	161	164
(他平均臨時雇用者数)	(112)	(117)	(128)	(139)	(151)

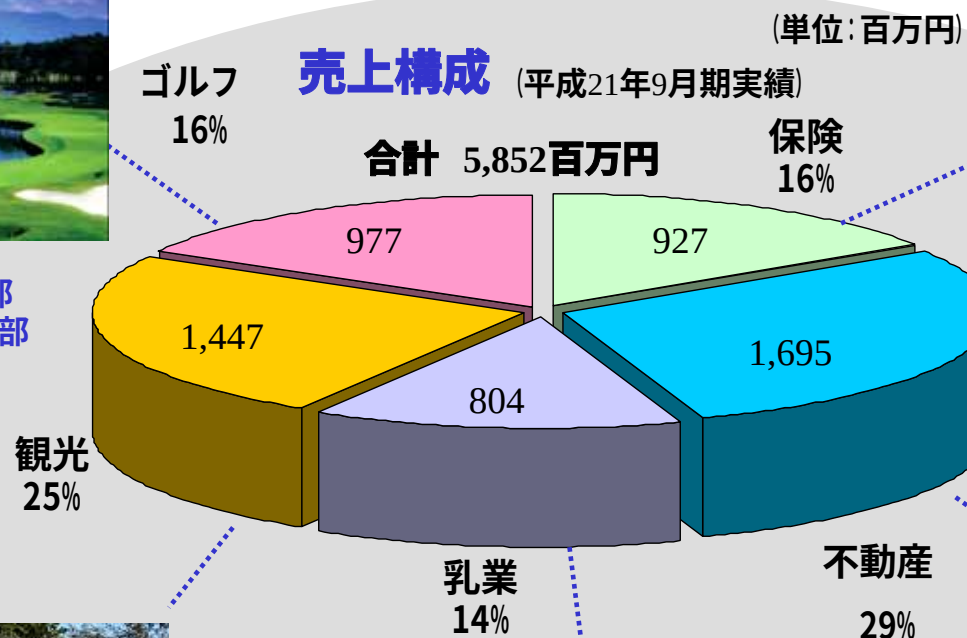
(ご参考) 事業内容のご紹介



ホウライカントリー倶楽部
西那須野カントリー倶楽部の運営



レジャー施設・レストランの運営
土産品・乳製品等の販売



損害保険代理店業務
生命保険募集業務



乳製品 (牛乳・アイスクリーム・
ヨーグルト) の製造・販売



ビル・不動産の賃貸・管理